

平成28年度 市史編纂シンポジウム

# 「最上川舟運と長井商人」

市史編纂事業の調査で新たに発見された資料や未発表の資料をもとに、シンポジウムを開催します。長井は江戸時代の最上川舟運で飛躍的に発展したまちといわれ、建造物や景観などで当時の面影が数多く残っています。このたびは最上川舟運とそこで活躍した長井商人をはじめ、陸路を使った新ルート「西山新道」についても報告が行われます。

日時：平成28年9月10日（土） 午後1時～4時30分

場所：生涯学習プラザ 舞と音楽のホール

長井市九野本 1235-1 TEL0238-84-6900

- 報告：「最上川舟運の歴史を概観する」 海藤元氏（長井市教育委員会）  
「近世後期の米沢藩の経済政策と最上川舟運」 原淳一郎氏（米沢女子短期大学）  
「長井商人の台頭」－豪商川崎八郎衛門を中心に－ 安部義彦氏（長井市史編纂委員）  
「西山新道と長井の商人たち」 青木慶一氏（長井市文化財調査会委員）

パネルディスカッション：コーディネーター 伊藤清郎氏（山形大学名誉教授）

定員：100人

申込と問合せ先：長井市教育委員会 文化生涯学習課

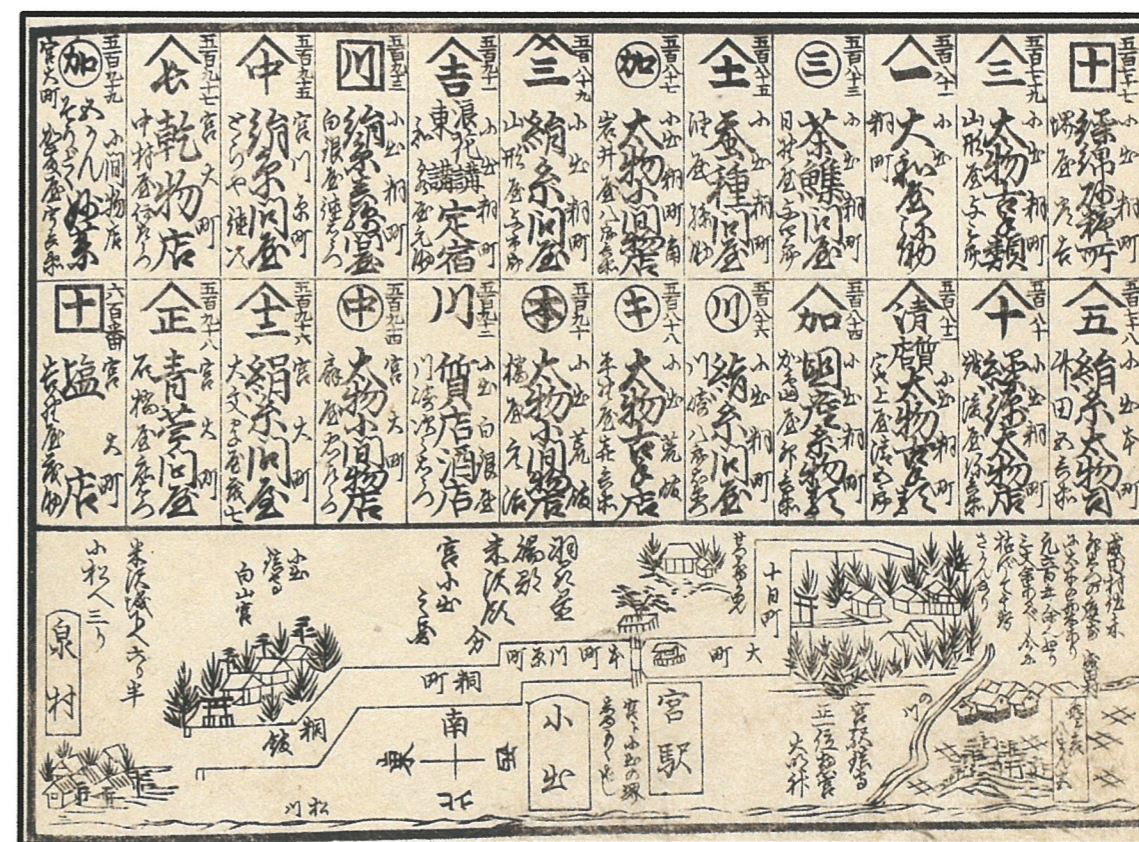
TEL0238-84-7677



「西山新道細見」 所蔵：竹田義一郎氏



「最上川舟運図」 所蔵：宮坂考古館



あずまこうあきんどかがみ  
「東講商人鑑」